はじめに

１文字を6個の浮き出している点で表す点字。駅の発券機やタクシーの窓ガラス、エレベータのボタン、ビールの缶のふたなど、最近はいろいろなところで点字を見つけることができるようになりました。

点字なら６個の点の組み合わせの 64 文字で、日本語やアルファベット、数字などをすべて表現することができるのです。まるで魔法のようですね。

そして点字で、なんと楽譜まで表現できるということをご存知でしょうか？

ルイ・ブライユ（1809～1852 年）が、現在使われているアルファベットや数字などの点字の考案者です。そして彼は楽譜の点字も最初から研究していました。このことからも、楽譜を何とか手にしたいという視覚障害者の強い思いがよくわかります。現在音楽の専門家、音大、盲学校などの他、コーラスのサークルなどでもルイ・ブライユが基礎を築いた点字楽譜が使われています。

でも最初から考えられていたにもかかわらず点字楽譜は日本語や英語の点字よりも難しいと言われています。それはなぜでしょうか。

まず第 1 に音楽の記号が数百種類もあること、楽器の種類や曲の規模によって形式にもバリエーションが多いことが考えられます。それぞれの記号に対応した点字、点字楽譜の規則、さらに形式に応じた書き方を覚える必要があります。歌詞や音楽用語も入ってくれば、日本語・外国語の点字や規則も知っている必要があります。

第 2 に現在使われている「点字ワープロ」と呼ばれるパソコンソフトでは、点字を対応するカナやアルファベットとして表示することはできますが、音楽の記号としては表示できません。演奏させて音を確認することもできません。

そこで、楽譜の点字ワープロを作って、この2つの難問を少しでも解決することができないだろうか、との思いで楽譜専用の音楽ソフト「ビースコア」を開発しました。このソフトでは、点字を音楽記号として読み上げること、演奏させて確認すること、ピンディスプレイに表示すること、点字プリンタに出力すること、さらに五線譜を作成する一般のソフトウェアと、データをやり取りすることができます。

点字楽譜ってなんだろうと本書を手にしてくださった方はもちろん、音楽を一から学習したい視覚障害者の方も、ご家族や友人と本書を参考にしながら、ソフトを使って楽しく学習していただきたいと思い、本書を作成しました。

さあ、まずは簡単な楽譜から少しずつ点字楽譜を作ってみませんか？

2025 年 11 月

一般社団法人 Be-MUSIC 代表　村上恭子

本書について:

本書は点字楽譜の規則について説明しています。ビースコアで作成できる楽譜のレベルを超えている部分もあり、その場合は対処方法を説明しています。さらに詳しい規則については、参考図書を参照ください。

本書では操作説明上で必要な、本書に限った用語を使っているところがあります。その場合は本書独自の用語であることを明記しています。

本書の記述は、現在のビースコア最新版(2025 年 11 月現在は、V5.01)の仕様に基づいています。90 日間の試用期間後もご利用になりたい場合は、8,800 円のライセンスをホームページ(https://www.be-music.jp)からご購入いただくと、そのままお使いいただけます。オンラインでのご購入以外をご希望の方は、メール(info@be-music.jp)にお問い合わせください。

Braille Score は一般社団法人 Be-MUSIC の登録商標です。ビースコア(B'Score)は Braille Score の略称です。
ビースコアに関する著作権は、一般社団法人 Be-MUSIC、情報処理振興事業協会、後藤敏行(横浜国立大名誉教授)にあります。
ビースコアには新エネルギー・産業技術総合開発機構、テクノエイド協会、ニューメディア協会の助成を受けて開発した機能が含まれています。